



# 令和 4 年度 事業計画書

事業局課	環境創造局		環境エネルギー課		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費		<input checked="" type="checkbox"/> その他				
歳出予算科目	一般会計	17	款	1	項	18	目
事業名称	低公害バス集中導入事業（自動車事業会計繰出金）						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和4年度	22,967					22,967
補助事業 単独事業						0
令和3年度	22,278					22,278
増△減	689	0	0	0	0	689

歳出		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算	事業費	5,670	15,759	22,278	22,967	22,967	22,967
	市債＋一般財源	5,670	15,759	22,278	22,967	22,967	22,967
決算	事業費	5,670	11,574	20,793			
	市債＋一般財源	5,670	11,574	20,793			

事業概要	本市が使用するバスについては、大気汚染物質の排出が少ない車両を率先導入することで環境改善を図ります。環境創造局では、交通局が導入する燃料電池バスについて、ディーゼルバス導入にかかる費用との差額分について、繰出し（補助）を行います。							
事業開始年度	平成8年度							
根拠法令・方針決裁等	自動車環境総合改善対策補助金に関する運用方針（国土交通省）、市営交通 中期経営計画（交通局）							
事業目的・効果（必要性）	自動車については年々性能が向上し、大気汚染物質の排出が少ない車が広く普及していますが、バスなどの重量車はディーゼルエンジンを搭載し、走行距離も長いことから、乗用車と比較しNOxやPM、CO2の排出量がいまだ多い状況です。そこで本市が使用するバスについては、低排出、低燃費車を率先導入し、環境の改善を図ります。							
根拠・データ等	ハイブリッドバス（平成21年度～令和3年度）、燃料電池バス（令和元年度～）導入実績							
事業指標	年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
ハイブリッドバス導入実績	単位	目標	5	10	10	—	—	—
	台	実績	5	10				
燃料電池バス導入実績（リース）【令和元年度～】	単位	目標	1	リース継続（2年目）	リース継続（3年目）	リース継続（4年目）	リース継続（5年目）	リース継続（6年目）
	台	実績	1	リース継続（2年目）				リース継続（満了）
燃料電池バス導入実績（リース）【令和4年度～】	単位	目標	—	—	—	2	リース継続（2年目）	リース継続（3年目）
	台	実績	—	—	—			リース継続（4年目）
事業スケジュール	交通局からの依頼に基づき、繰出しを行う。							

(単位：千円)

細事業名称	4年度	3年度	差引（増減）	増減説明
	① 自動車事業会計繰出金	22,967	22,278	689
②			0	
③			0	
④			0	
⑤			0	
⑥			0	
⑦			0	
⑧			0	
⑨			0	
⑩			0	
細事業合計	22,967	22,278	689	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	山本 恵幸	志田 将史	水谷 春奈